

ヒロセ電機 2021年3月期 決算説明会

“2021”中長期成長戦略について

2021年5月7日

ヒロセ電機株式会社

代表取締役社長
石井 和徳

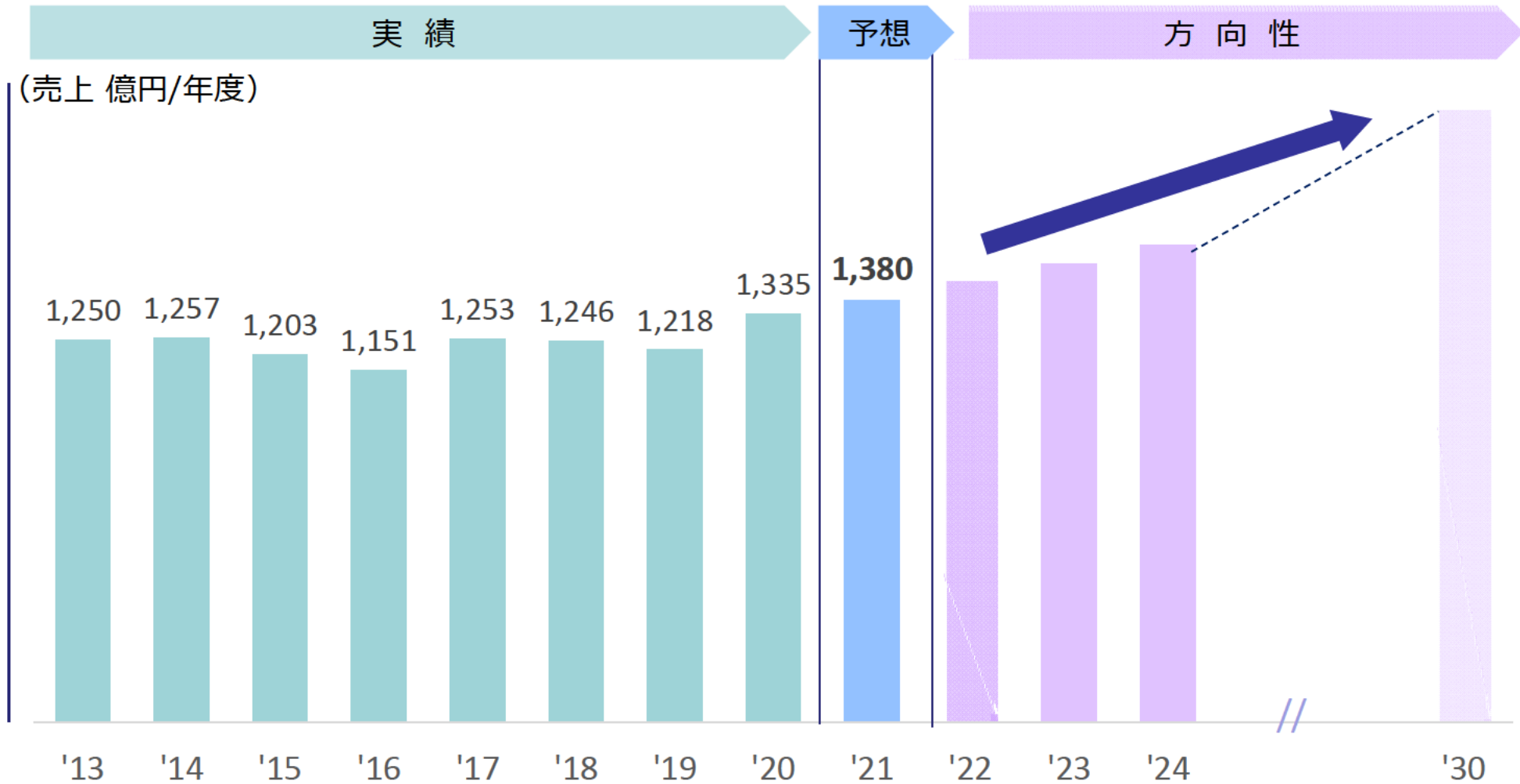
注意事項

本資料には、ヒロセ電機の現時点における予測に基づく記述が含まれています。

これら将来に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性その他の要因が内在しており、当社における実際の業績と異なる恐れがあります。ご承知おき下さい。

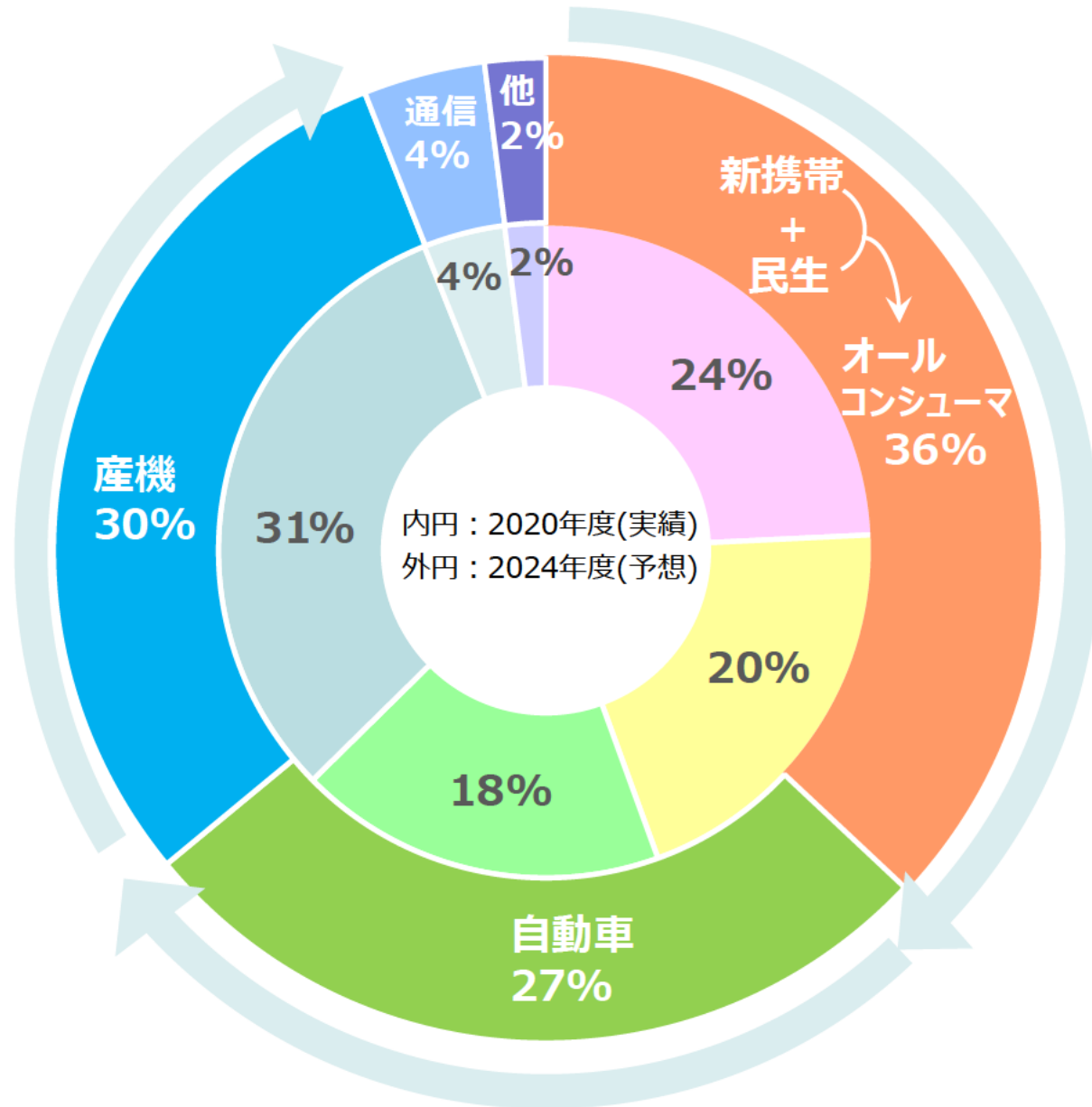
HRS : 成長イメージ

高収益経営を維持し、中長期的に継続成長



2013~2019年度 : 停滞 ⇒ 2020年度 : 浮上
 2021~2022年度 : 足場固め 2023年度~ : 本格回復

中期 分野構成比イメージ



2020年度

- コンシューマ市場の活況
- 次世代インフラの加速
- 産機市場の回復



2024年度

- 「スマホ・コンシューマ」「車載」「産機・インフラ」の3本柱での成長
- 更なる将来への仕掛けを強化

→継続成長に向けて
**バランスの良いビジネス構造で、
 変化対応に強い企業体質の確立
 を目指す**

市場環境の変化

市場環境の変化 + コロナ影響

■ 生活スタイルの変化

- ニューノーマル（新しい生活様式）
- デジタルトランスフォーメーションの加速
- あらゆるところでのIoTの普及
- リモートワークの定着による対応力

“つなぐ”ビジネスの需要が増加する

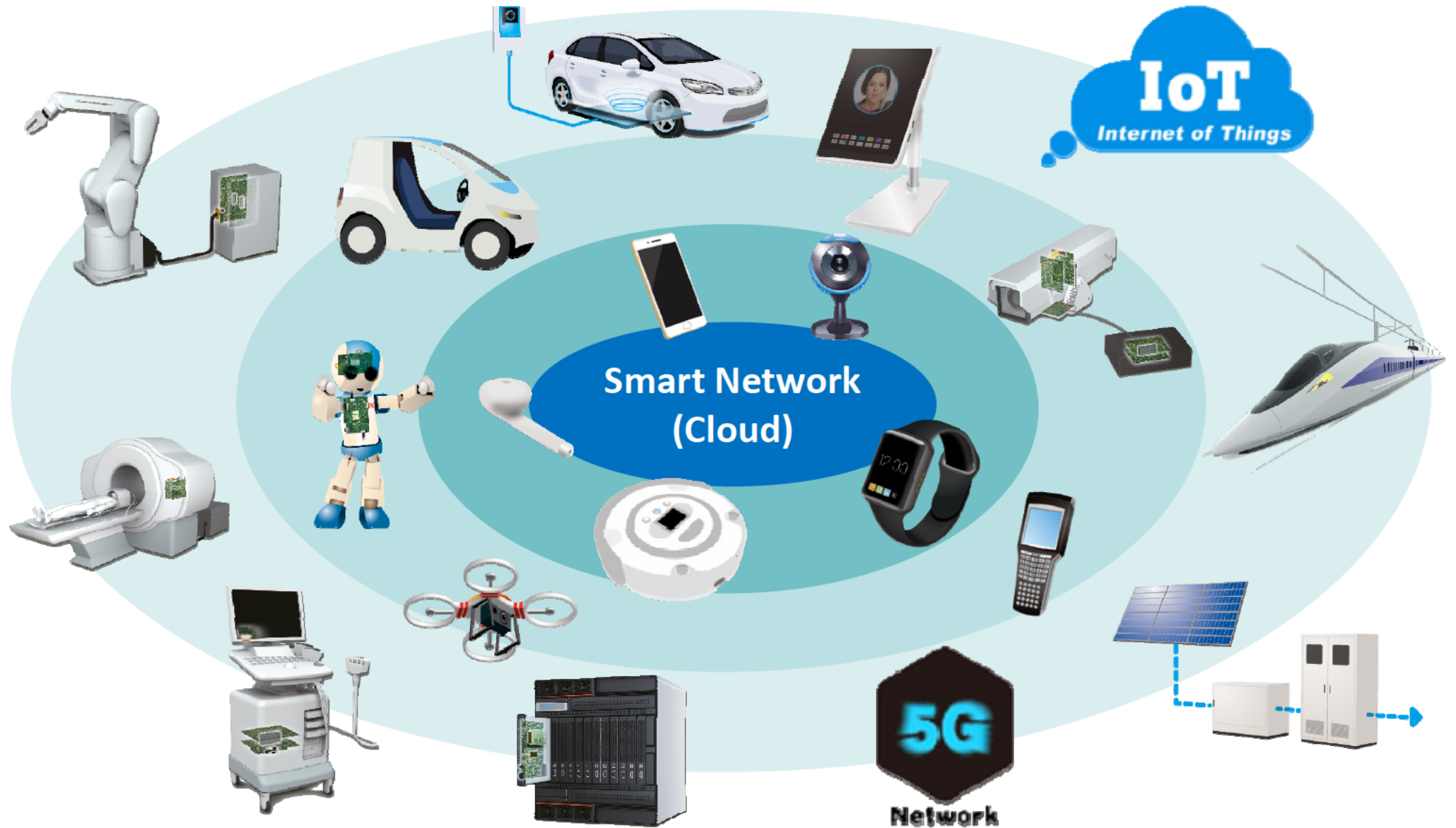
■ 価値観の変化

- 「量」から「質」へのニーズ変化
- カーボンニュートラルなどの環境対応
- ESG、SDGsへの意識、活動の推進
- 自然災害等リスクへの迅速な対応
- 健康・安全志向へ

持続可能な社会の実現に貢献する

これからの高付加価値製品 = 性能・品質 + **社会課題・変化への対応** に向かう
新しい事業機会の創出に、スピード感を持って対応する

将来の成長市場



身近なデバイスから社会インフラを支えるセットに至るまで、
様々なニーズの変化・拡がりに対応し、更なる貢献を目指す

中期分野戦略イメージ



分野横断的な活動により、先行・先端・差異化の提案力を高める

<< 2021年度 >>

➤ “感知力と反応力”を強化し、前進する

〈1〉 技術開発力

〈2〉 モノづくり力

〈3〉 Global対応力・現地力

「+」 “人財”創り

「回復・進化」へ “実行力の加速”

➤ 手元と中・長期の二軸での対策を急ぐ！

両利き（※）で事業推進を考動し、“次なる未来”への土台を創る

※： [手元⇔先] [既存⇔新規] [火消し⇔再発防止] etc.

HRS HIROSE
ELECTRIC
CO.,LTD.